※令和４年度以降入学生用

学校番号	1003

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	(学)仮名の書	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本独自で発展した書道の文化「仮名」について学びます。
・仮名の美しさや表現の多様性に触れ、文字の幅広い表現を味わいましょう。
・仮名の基本的用筆、運筆を学習し、古筆の臨書を通じて仮名の技法を習得しましょう。
・臨書から創作へと表現の幅を広げ、感性を生かした作品制作をめざしましょう。
・提出物、課題に取り組む姿勢が評価の大半を占めます。毎回の授業に積極的に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

(1)　仮名の書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、仮名の書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けようとしている。
(2)　仮名の書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、仮名の書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
(3)　主体的に仮名の書の創造的な諸活動に取り組み、感性を磨き、仮名の書の伝統と文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	個性豊かに創造的な表現をするために、仮名の書の美しさを生かした効果的な表現の技法を身に付けている。	作品制作の目的に合わせ、構成や表現を工夫し、創造豊かに作品制作を行っている 書の美の多様性と作品の特徴を把握し、日本の書の伝統と諸文化との関連などを理解し、そのよさや美しさを個性豊かに味わう。	仮名の書の多彩な表現を愛好し、それにまつわる文化や伝統を尊重するとともに、主体的に作品制作に取り組み表現しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	オリエンテーション　小筆の基本用筆	・授業の受け方についての確認。 ・小筆の基本用筆 仮名で使用する小筆の持ち方を学び、仮名の基本的用筆を習得する。 ・いろは練習 「いろはうた」で基本的点画や運筆を確認、習得する。 ・連綿練習	a：基本用筆やいろはの練習を通して、仮名の線質や字形、点画の特徴を理解し、それを表現するための技法を身につけている。 b：仮名の成立背景について理解し、日本独自の仮名の文化を踏まえて学習に取り組むことができる。 c：仮名の変遷、技法表現に興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 仮名の美しさや文化を理解し、そのよさを味わっている	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート
	古筆の臨書（半壌紙）	・古筆の臨書 「高野切第三種」「「関戸本古今和歌集」の一節を学習し、用紙に臨書する 「寸松庵色紙」を学習し、散らし書きについて学ぶ。	a：仮名の線質、字形、紙面構成などを理解し、技術を習得している。 b：古筆それぞれの特徴を捉え、工夫して表現しようとしている。それぞれの古筆の運筆や紙面構成を分析し、仮名の多様な表現を味わっている。 c：古筆それぞれの特徴や書風に関心を持ち、その美しさを理解している。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート
2	古筆の臨書（全紙）	・中字仮名の練習 中字筆を用いて古筆の一節を半切1/2、半切で臨書。	a：仮名の線質、字形を理解し、中字筆でもその技術を習得している。 b：古筆の特徴を捉え、用紙と文字の大きさを考え表現を工夫している。 さまざまな大きさの用紙に触れ、それぞれの構成の違いや表現を味わっている。 c：用紙の大きさによって変わる仮名の表現を感じ取り、意欲的に製作に取り組んでいる	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	少字数創作　散らし書き	・少字数創作 短いひらがなの言葉を選び、古筆から集字し、連綿などを工夫して小さい作品を制作する。 ・散らし書き 古筆を参考にし、散らし書きに形を整え、美しい構成の作品を制作する。	a：古筆の臨書で学んだ用筆、構成を理解し、自分の作品にも反映させ、表現を工夫している。 b：様式や文字数にあった構成、表現を、自主的に思考し制作している。 c：仮名の作品制作に興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 構成、変体仮名、連綿などの要素で作品の表現が広がることを理解し、そのよさを味わっている。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート
3	作品制作　鑑賞	・作品制作 形式、用紙、料紙を自分で選び、ひとつの作品に仕上げる。 ・作品鑑賞、批評 完成した作品を互いに鑑賞、批評。	a：作品の構成、運筆を工夫し、自分の狙いを的確に表現し、作品に即した制作をすることができている。 b：完成を予想し、自分の表現したい作品に近づくよう、文字や運筆、構成を工夫している。 完成した創作作品を互いに鑑賞し、批評しあうことで、仮名の表現の意図や構成の工夫などを味わっている。 c：これまでの学習を生かし、題材選びから自主的に作品制作に取り組んでいる。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度